

過去約2万年間における平野の地形発達史と近年のイベント発生時の地形変化に関する研究

研究者プロフィール

- ・地域総合学部 地域コミュニティ学科 教授 伊藤晶文
- ・専門分野：自然地理学・地形学
- ・所属学会：日本地理学会，日本地形学連合，日本第四紀学会，東北地理学会
- ・主な経歴：鹿児島大学教育学部，山形大学人文社会科学部を経て現職

研究内容

私は自然地理学（主に地形学）分野の研究を行ってきました。これまでの研究は、①東北日本における過去約2万年間の環境変遷と沖積低地および海岸砂丘の地形発達史に関する研究，②丘陵地およびシラス台地周辺における斜面崩壊や土石流に関する研究，③乾燥地域における地形変化および堆積物に関する研究，④巨大津波や暴浪による海岸地形の地形変化に関する研究，に大別されます。最近は特に上記④を中心に，宮城県の仙台湾岸において，のDEMやSfMソフトウェアにより作成したDSMを用いて，2011年東北地方太平洋沖地震津波後の地形変化解析を行っています（図参照）。

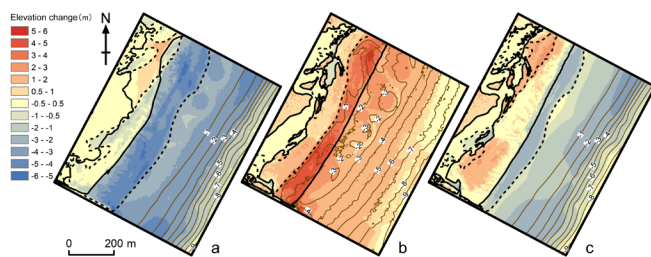


図 異なる二時期間の標高変化（伊藤・小岩, 2023）

a：津波前－津波から約3か月後 b：津波から約3か月後－津波から約2年半後 c：津波前－津波から約2年半後

破線は前時期の，実線は後時期の水涯線をそれぞれ示す。海底の等高線（m）は，前時期のものを示す。

関連キーワード

地形発達，地形変化，沖積低地，海岸砂丘，丘陵地，高精度地形情報，GIS

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・環境アセスメント（現在，宮城県環境影響評価技術審査会委員〔地形・地質，地盤沈下担当〕を務めています）に関する助言
- ・発掘遺跡周辺の地形環境（現在および過去）の解明または情報提供
- ・自然地理，地学などの授業実践への助言

研究者への連絡先

産学連携推進センター

Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 電話 022-354-8122